

2018年度第3四半期（2018年7月～9月）連結決算短信

会社名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所属部	東証第一部
決算期	本決算：年1回(12月) 中間決算：四半期毎
問合わせ先	長島・大野・常松法律事務所 (Tel: 03-6889-7000) 弁護士 門田 正行

1. 本国における決算発表日：2018年10月24日（水曜日）

2. 業績

	第3四半期（7月～9月の3ヶ月間）			累計額（1月～9月の9ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,577	百万ドル 5,506	% 1.3	百万ドル 16,632	百万ドル 16,243	% 2.4
税引前当期純利益	百万ドル 1,146	百万ドル 1,075	% 6.6	百万ドル 3,261	百万ドル 3,019	% 8.0
当期純利益	百万ドル 845	百万ドル 716	% 18.0	百万ドル 2,395	百万ドル 2,021	% 18.5
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.10	ドル 0.91	% 20.9	ドル 3.10	ドル 2.54	% 22.0
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.09	ドル 0.90	% 21.1	ドル 3.08	ドル 2.52	% 22.2

配当金の推移		
	当年度（2018年度）	前年度（2017年度）
第1四半期	0.26 ドル	0.22 ドル
第2四半期	0.26	0.22
第3四半期	0.26	0.22
第4四半期		0.23
合計	0.78 ドル	0.87 ドル

(注1) 原則として各四半期に決定された配当金である。

(注2) 端数処理のため、合計は計数の総和と一致しない。

* 上記に表示する全ての1株当たりの情報及び配当金には、2018年2月13日に当社の取締役会で決議した株式分割の影響が適宜反映されている。

3. 概況・特記事項・その他
特になし



会社名:アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード:8686
問い合わせ先:アフラック生命保険株式会社
IR サポート室
青山 佳弘 (Tel:03-5931-2779)

Aflac Incorporated は 2018 年度第 3 四半期の業績を発表

1 株当たり利益の見通しを確認

2018 年度第 4 四半期現金配当を決定

ジョージア州、コロンバス - 2018 年 10 月 24 日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は、本日、2018 年度第 3 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、前年同期の 55 億ドルから 56 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 7 億 1,600 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.90 ドル)から 8 億 4,500 万ドル(同 1.09 ドル)となりました。

前年同期の当期純利益には、7,100 万ドル(実現損とのネット。希薄化後 1 株当たり 0.09 ドル)の税引前資産運用実現益が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、8,800 万ドル(実現損とのネット。希薄化後 1 株当たり 0.11 ドル)の税引前資産運用実現益が含まれていました。これらの実現益(純額)には、減損及び貸倒引当金の変動に関連する 500 万ドルの損失が含まれていました。また、税引前実現益(実現損とのネット)は、持分証券の公正価値の変動による 2,700 万ドルの利益を含んでいました。さらに、当期純利益は、主として日本支店の子会社化に伴う費用を反映した税引前費用 300 万ドルも含んでいました。当四半期のこれらの当期純利益の調整

に係る法人税費用は 2,100 万ドルでした。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の 111.03 円から 0.4%円安ドル高の 111.48 円となりました。年初来 9 ヶ月間では、平均円／ドル為替レートは、前年同期の 111.89 円から 2.1%円高ドル安の 109.54 円となり、アフラック(日本)のドルベースの成長率を押し上げました。

当四半期の調整後利益*は、前年同期の 6 億 7,600 万ドルから、7 億 9,200 万ドルとなりました。当四半期の希薄化後 1 株当たり調整後利益*は、主として全般的に有利な税引前利益率及び改正税法による実効税率の低下を反映して、21.2%増加し、1.03 ドルとなりました。当四半期の調整後利益は、税務上有利となる項目 800 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.01ドル)も含んでいました。為替レートは若干円安ドル高になりましたが、当四半期の希薄化後 1 株当たり調整後利益には影響しませんでした。

2018 年年初来 9 ヶ月間の収益合計は、前年同期の 162 億ドルから 2.4%増加し、166 億ドルとなりました。2018 年年初来 9 ヶ月間の当期純利益は、前年同期の 20 億ドル(希薄化後 1 株当たり 2.52ドル)から 24 億ドル(同 3.08ドル)となりました。2018 年年初来 9 ヶ月間の調整後利益は、前年同期の 21 億ドル(希薄化後 1 株当たり 2.60ドル)から 24 億ドル(同 3.15ドル)となりました。円高ドル安による希薄化後 1 株当たり 0.03ドルの有利な影響を除いた 2018 年年初来 9 ヶ月間の希薄化後 1 株当たり調整後利益は、19.6%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2017 年 9 月 30 日現在の 1,225 億ドルから、2018 年 9 月 30 日現在では 1,242 億ドルとなりました。当四半期、アフラックは 3 億 2,200 万ドル相当(700 万株)の自己株式を取得しました。2018 年 9 月 30 日現在、当社の自己株式取得承認枠の残枠は、7,760 万株となっています。

株主持分は、2017 年 9 月 30 日現在が 220 億ドル(1 株当たり 27.90ドル)であったのに対し、2018 年 9 月 30 日現在では 232 億ドル(1 株当たり 30.45ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(純額)は、2017 年 9

月 30 日現在が 54 億ドルであったのに対して、当四半期末では 42 億ドルでした。株主持分に含まれる外貨換算未実現損は、2017 年 9 月 30 日現在が 17 億ドルであったのに対して、当四半期末では 21 億ドルでした。当四半期における平均株主資本利益率は、年率換算で 14.4%でした。

その他の包括(損)益累計額(AOCI)を除く株主持分は、主として改正税法の適用及びこれに伴う 19 億ドルの繰延税金負債の減少により、2017 年 9 月 30 日現在が 184 億ドル(1 株当たり 23.42ドル)であったのに対して、2018 年 9 月 30 日現在は、213 億ドル(1 株当たり 27.94ドル)でした。当四半期の為替変動の影響を除く調整後株主資本利益率*は、年率換算で 15.0%でした。

アフラック(日本)

円ベースで、アフラック(日本)の当四半期の保険料収入(再保険とのネット)は、第三分野商品では増加したものの、貯蓄性商品の払済化による第一分野商品の減少がこれを上回ったため、前年同期比 0.9%減の 3,520 億円となりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、米ドル建ての変動利付運用資産からのより高い収益により、8.3%増の 677 億円となりました。当四半期の円ベースの収益合計は、0.4%増加し 4,209 億円となりました。当四半期の円ベースの税引前調整後利益は、主としてより高い利回りの米ドル建て運用資産及び第三分野商品の有利な保険金給付金比率により、報告ベースでは 1.4%増、為替変動の影響を除くベースでは 1.3%増となりました。日本セグメントの税引前調整後利益率は、前年同期が 19.9%であったのに対して、当四半期は 20.1%でした。

本年年初来 9 ヶ月間の円ベースの保険料収入は、前年同期比 1.8%減の 1 兆 1,000 億円となりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、前年同期比 4.9%増加し、1,975 億円となりました。円ベースの収益合計は、前年同期比 0.8%減少し 1 兆 3,000 億円となりました。税引前調整後利益は、前年同期比 2.0%増の 2,641 億円となりました。

当四半期のドルベースの保険料収入(再保険とのネット)は、前年同期比 1.3%減の 32 億ドルとなりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、前年同期比 8.0%増の 6 億 600 万ドルとなりました。収益合計は、0.1%増の 38 億ドルとなりました。税引前調整後利益は、前年同期比 1.1%増の 7 億 5,600 万ドルとなりました。

本年年初来 9 ヶ月間のドルベースの保険料収入(再保険とのネット)は、前年同期比 0.3%増加し 96 億ドルとなりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、7.5%増の 18 億ドルとなりました。前年同期比で、収益合計は、1.4%増の 115 億ドル、税引前調整後利益は 4.5%増の 24 億ドルとなりました。

当四半期のがん保険、医療保険及び給与サポート保険を含む第三分野商品の販売は、2.6%減少し 216 億円となりました。当四半期の新契約年換算保険料合計は、0.7%減の 236 億円(2 億 1,200 万ドル)となりました。

本年年初来 9 ヶ月間の第三分野商品の販売は 1.8%増加し、新契約年換算保険料合計は、0.7%増の 717 億円(6 億 5,500 万ドル)となりました。

アフラック(米国)

当四半期のアフラック(米国)の保険料収入は 2.4%増加し、14 億ドルとなりました。投資収益(純額)は、米国セグメントにおける余剰資本の取崩しにより一部相殺されたものの、変動利付の運用資産からのより高い収益により、3.3%増の 1 億 8,700 万ドルとなりました。収益合計は 2.6%増の 16 億ドルとなりました。税引前調整後利益は、当四半期におけるより高い投資収益(純額)及び有利な保険金給付金比率により、前年同期比 5.7%増の 3 億 3,400 万ドルとなりました。当四半期の米国セグメントの税引前調整後利益率は、前年同期の 20.1%から 20.7%となりました。

本年年初来 9 ヶ月間の保険料収入は、2.6%増加し、43 億ドルとなりました。投資収益(純額)は、0.9%増加し、5 億 4,400 万ドルとなりました。前年同期比で、収益合計は 2.5%増の 48 億ドル、税引前調整後利益は 5.8%増の 10 億ドルとなりました。

当四半期のアフラック(米国)の新契約年換算保険料合計は、3.3%増の 3 億 5,900 万ドルとなりました。本年年初来 9 ヶ月間の新規販売合計は、2.6%増の 11 億ドルとなりました。

全社(アフラック(日本)及びアフラック(米国)を除く)及びその他

当四半期の収益合計は、2,700 万ドルの投資収益(純額)を反映し、18.8%増の 8,200 万ドルとなりました。投資収益(純額)は 1,700 万ドル増加しましたが、これは、全社の円ヘッジ・プログラムから発生した税引前利益 900 万ドルの恩恵及び米国セグメントにおける余剰資本の取崩しの一環として 2017 年度第 4 四半期に開始した、運用資産の移動によるものです。

税引前調整後利益は、前年同期が 5,000 万ドルの損失であったのに対して、当四半期は、2,900 万ドルの損失でした。

本年年初来 9 ヶ月間の収益合計は、7,400 万ドルの投資収益(純額)を反映し、20.1%増の 2 億 4,500 万ドルとなりました。投資収益(純額)は 5,000 万ドル増加しましたが、これは、全社の円ヘッジ・プログラムから発生した税引前利益 1,800 万ドルの恩恵及び米国セグメントにおける余剰資本の取崩しの一環として 2017 年度第 4 四半期に開始した、運用資産の移動によるものです。税引前調整後利益は、前年同期が 1 億 5,000 万ドルの損失であったのに対して、本年年初来 9 ヶ月間は、1 億 1,300 万ドルの損失でした。

現金配当

取締役会は、2018 年度第 4 四半期支払いの四半期現金配当を 1 株当たり 0.26 ドルとすることを決定しました。この現金配当は、2018 年 11 月 21 日の営業時間終了時点の登録株主に対し、2018 年 12 月 3 日に支払われます。

今後の見通し

当社の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当四半期の日米両国の業績が、全般的に堅調な成果を反映したものとなり、2018年の目標達成に向けて当社が前進したことを、喜ばしく思っています。」

「当社の最大の利益貢献部門であるアフラック(日本)は、当四半期及び本年年初来9ヶ月間とも、強力な財務業績を挙げました。当四半期における円ベースでの調整後業績は、予想を上回るものですが、これは主として、強い投資収益及び保険金給付金比率によるものです。当四半期の第三分野商品の販売は、がん保険新商品の販売成長及びこれに伴う医療保険商品の販売の自然減による相殺を含めて、当社の予想に沿った実績となりました。当社は、第4四半期も同様の実績となり、その結果、第三分野商品の通年の販売成長が低位の1桁台になるものと予想しています。さらに、アフラックの安定的な販売と引き続き高い継続率を反映して、通年の第三分野商品の収入保険料は、2%から3%の範囲での堅調な増加を維持するものと当社は予想しています。」

「米国での事業に関して、財務業績及び強い利益率が継続していることを喜ばしく思っています。当社の調整後ベースの業績は、より高い投資収益とより低い保険金給付金比率を反映しています。事業基盤への投資の加速と、従前より決定していた法人税減税分の事業への再投資により、第4四半期における事業費は、目標どおり増加する見込みです。当四半期の新契約年換算保険料実績は、販売予想とともに、通年では成長目標である3%から5%の下限值で着地させるペースとなっています。当社は、米国における営業基盤の拡大を続けるために、正しい戦略を設定しているものと確信しています。販売部門への当社の投資及び顧客満足に関する当社の目標が、引き続き販売成長と安定的な継続率につながり、2%から3%の本年度の保険料収入の成長目標達成の原動力になるものと、当社は確信しています。」

「当社は、ご契約者のために強い自己資本比率を維持するとともに、こうした財務力と、配当の増加、自己株式の取得ならびに事業への再投資との間でバランスをとることに、引き続きコミットしています。2018 年通年では、引き続き 11 億ドルから 14 億ドルの自己株式取得を考えています。同時に、最終利益に対して長期的に影響を与える当社の成長戦略及び業務の効率化にとって、当社の事業基盤に対する慎重な投資が不可欠であることを、当社は認識しています。言うまでもないことですが、当社は増配記録を大切にしています。当四半期における配当の決定により、36 年連続の増配を記録することになります。本年の初めに申し上げましたように、取締役会は四半期毎に配当を見直す権利を留保していますが、当社は増配を行うための見直しのタイミングを第 1 四半期へとリセットしました。」

「本年年初来 9 ヶ月間を通じた強い業績は、改訂された通年の 1 株当たり調整後利益目標である 3.90 ドルから 4.06 ドルの上限値を達成するペースで、当社の事業を軌道に乗せています。この目標は、2017 年の加重平均為替レートである 1 ドル 112.16 円を前提としています。常にそうであるように、当社のご契約者に対する約束を確実に果たしつつ、1 株当たり利益目標達成のため、懸命に努力を重ねています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60 年以上にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売 No.1 の会社です。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、アフラック(米国)は、有効な給付請求の審査手続、承認及び請求者が迅速に現金を取得できるように電子的な方法により請求者に資金を送付することをわずか 1 営業日で行うことができます。日本では、アフラックは医療保険・がん保険の最大手で、4 世帯に 1 世帯がアフラックの保険に加入しています。アフラックの保険は、世界で 5,000 万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は、12 年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出しています。また、2018 年、『フォーチュン』誌は、当社を 20 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出す

るとともに、17 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にも選出しています。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカー・シンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、当社のウェブサイトをご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料(FAB Supplement)は、当社のウェブサイトから入手可能です。

Aflac Incorporated は、当四半期業績報告の電話会議の様態を 2018 年 10 月 25 日(木曜日)午前 9 時 00 分(米国東部標準時間)に当社のウェブサイト上で公開します。

*本書において用いられている米国 GAAP 外の財務指標についての説明及び定義ならびに米国 GAAP 外の財務指標から最も比較可能な米国 GAAP の財務指標への調整については、後述の「米国会計基準(GAAP)外の財務指標」をご参照ください。

Aflac Incorporated 要約連結損益計算書
 (単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	2018	2017	増減率
収益合計	5,577	5,506	1.3%
保険金給付金(純額)	3,002	3,083	-2.6%
新契約費及び事業費合計	1,429	1,348	6.0%
税引前当期純利益	1,146	1,075	6.6%
法人税等	301	359	
当期純利益	845	716	18.0%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.10	0.91	20.9%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.09	0.90	21.1%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	767,049	788,958	-2.8%
希薄化後	772,070	794,762	-2.9%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.26	0.22	18.2%

Aflac Incorporated 要約連結損益計算書
 (単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した9ヶ月間:

	2018	2017	増減率
収益合計	16,632	16,243	2.4%
保険金給付金(純額)	9,075	9,174	-1.1%
新契約費及び事業費合計	4,296	4,050	6.1%
税引前当期純利益	3,261	3,019	8.0%
法人税等	866	998	
当期純利益	2,395	2,021	18.5%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.10	2.54	22.0%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.08	2.52	22.2%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	772,807	794,645	-2.7%
希薄化後	777,867	800,483	-2.8%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.78	0.65	20.0%

Aflac Incorporated 要約連結貸借対照表

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

9月30日現在:

	2018	2017	増減率
資産:			
運用資産及び現金・預金合計	124,214	122,489	1.4%
繰延新契約費	9,622	9,413	2.2%
その他の資産	4,105	4,181	-1.8%
資産合計	137,941	136,083	1.4%
負債及び株主持分:			
保険契約準備金	100,584	98,713	1.9%
社債等	5,279	5,248	0.6%
その他の負債	8,844	10,145	-12.8%
株主持分	23,234	21,977	5.7%
負債及び株主持分合計	137,941	136,083	1.4%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	763,113	787,750	-3.1%

米国会計基準(GAAP)外の財務指標¹

本書には、アフラックの米国GAAP外の基準による業績指標である調整後利益、希薄化後1株当たり調整後利益、調整後株主資本利益率、ヘッジ費用の償却額及び調整後純資産額への言及が含まれている。これらの指標は、米国GAAP(GAAP)に沿って計算されていない。これらの指標は、全般的な経済情勢や事象に影響され、あるいは保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連する傾向にあるため、保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していない可能性がある。当社が考える項目を除外したものである。当社経営陣は、アフラックの連結ベースの保険事業の財務業績を評価するにあたっては、調整後利益、希薄化後1株当たり調整後利益及び調整後株主資本利益率を用いている。また、これらの指標を表示することは、アフラックの保険事業に内在する利益の原動力や傾向を理解するに際して、極めて重要であると当社経営陣は確信している。当社は、調整後利益の要素であるヘッジ費用の償却額は、アフラック(日本)における一部の米ドル建て投資のヘッジに係る定期的な為替リスク管理費用を計測するものであり、投資収益(純額)の重要な要素であると確信している。当社は、経営のコントロールが及ばない市場動向によって変動するその他の包括(損)益累計額(AOCI)を除外するという点で、調整後純資産額は重要なものであると考えている。当社のGAAP外の指標の定義及びこれらに最も比較可能なGAAPの指標との調整については、下記及びこれに続く表に記載されている。

日本円を機能通貨とするアフラック(日本)の規模が大きいため、円/ドル為替レートの変動は当社の報告業績に対して著しい影響を与え得る。円安に推移する期間においては、円貨のドル貨への換算においてはより少ないドル貨で報告される。円高に推移する期間においては、円貨のドル貨への換算においてはより多くのドル貨で報告される。このように、円安は、前年同期との比較において当期の業績を押し下げ、円高は、前年同期との比較において当期の業績を押し上げる効果がある。当社の事業の非常に大きな部分が円で行われており、GAAPによる報告の目的のために、これがドルに換金されることはないものの、ドルに換算されることから、為替変動は、GAAPに基づく利益、キャッシュ・フロー及び純資産に影響を与える。また、為替レートは経営のコントロール外にあるため、アフラックは、日本円を米ドルに換算することの影響を理解することは重要であると確信している。当期における為替変動の影響を除く調整後利益、希薄化後1株当たり調整後利益及び調整後株主資本利益率は、全て比較の対象となる前年同期における平均円/ドル為替レートを用いて計算されており、円からドルへの為替レートの変化のみによってもたらされる変動を消去したものである。

アフラックは、本書に含まれているGAAP外の指標を以下の通り定義している。

・調整後利益は、調整後収益から保険金給付金及び調整後費用を差引いたものである。収益及び費用に対する調整は、予測不能あるいは経営のコントロールが及ばない一部の項目から構成される。調整後収益は、外国為替のエクスポージャーへの管理戦略及び特定の投資戦略によるデリバティブからの金利キャッシュフロー(純額)に係るヘッジ費用の償却額以外の資産運用実現損益を除いたGAAPベースの収益合計である。調整後費用は、社債等に係るデリバティブからの金利のキャッシュ・フローへの影響を含み、当社の保険事業の通常の業務に関係せずアフラックの基礎となる業績を反映しない非経常的損益ならびにその他の損益を除く、GAAPベースの新契約費及び事業費の合計である。これと最も比較可能なGAAPの指標は、当期純利益である。

・1株当たり調整後利益(基本あるいは希薄化後)は、当該期間の調整後利益を期中の加重平均発行済株式数(基本あるいは希薄化後)で除したものである。これと最も比較可能なGAAPの指標は、1株当たり当期純利益である。

・為替変動の影響を除く調整後株主資本利益率は、GAAPに基づく当期純利益合計から調整された、円/ドル為替レート変動の影響を除く調整後利益を、AOCIを除く平均株主持分で除したものである。これと最も比較可能なGAAPの指標は、平均株主資本利益率(ROE)であり、これは当期純利益と平均株主持分を用いて決定される。

・ヘッジ費用の償却額は、日本セグメントの運用ポートフォリオにおける一部の米ドル建て資産に係る為替リスクをヘッジするために、為替先物取引を用いることで生じる費用を表すものである。これらのヘッジ費用の償却額は、取引開始時の直物為替レートと為替先物取引における約定先物レートとの差により生じ、ヘッジ期間にわたって、定額で認識される。ヘッジ費用の償却額と比較可能なGAAPの財務指標はない。

・調整後純資産額は、GAAPに基づく純資産額(株主持分合計)から、GAAPに基づき貸借対照表に記録されたその他の包括(損)益累計額(AOCI)を控除したものである。

・改正税法の影響の評価額は、GAAPの当期純利益及び株主資本には含まれるが、本定義による調整後利益からは除外される。この評価額は予備的なものであり、当期及び将来において、場合によっては大幅に調整される可能性があり、その要因には次のものが含まれる。当社の計算についてのさらなる精査、これまで当社が行ってきた解釈や前提の変更、将来発行される可能性のある税務ガイダンス及び改正税法の結果として当社がとる行動。

¹2018年度第1四半期より、当社は従来「事業利益」として言及されてきた計数について、税引前及び税引後ベースともに、また絶対金額及び1株当たりの金額ともに、これらを「調整後利益」という表記に変更した。また、従前「事業ベースの株主資本利益率(ROE)」として言及されてきた計数は、「調整後株主資本利益率(ROE)」という表記に変更した。これらの変更は、計数に関する単なる表記の変更であり、その定義や計算方法を改訂するものではない。

当期純利益から調整後利益への調整¹
 (単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	<u>2018</u>	<u>2017</u>	<u>増減率</u>
当期純利益	845	716	18.0%
調整後利益への調整項目:			
資産運用実現損(益)	-88	-71	
その他及び非経常的損(益)	3	10	
調整後利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用	21	21	
改正税法に関連する調整 ⁴	11	非適用	
調整後利益	792	676	17.2%
当期における為替変動の影響 ²	1	非適用	
当期における為替変動の影響を除く調整後利益 ³	793	676	17.3%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.09	0.90	21.1%
調整後利益への調整項目(単位:ドル):			
資産運用実現損(益)	-0.11	-0.09	
その他及び非経常的損(益)	0.00	0.01	
調整後利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用	0.03	0.03	
改正税法に関連する調整 ⁴	0.01	非適用	
希薄化後1株当たり調整後利益(単位:ドル)	1.03	0.85	21.2%
当期における為替変動の影響 ² (単位:ドル)	0.00	非適用	
当期における為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり調整後利益 ³ (単位:ドル)	1.03	0.85	21.2%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²為替変動については、その影響額を当期に限定するため、前期の影響額は「非適用」とした。

³当期における為替変動の影響を除く金額は、比較対象の前年同期における平均円/ドル為替レートを用いて計算されており、これにより、為替レートの変化のみによってもたらされたドルベースの変動を消去している。

⁴改正税法の影響の評価額は初期的なものであり、場合によっては大幅に調整される可能性があり、その要因には次のものが含まれる。当社の計算についてのさらなる精査、当社が行った解釈と前提の変更、今後発せられる税務ガイダンス及び改正税法の結果として当社がとる行動。当社により提出された申告額と費用計上額の調整及びいくつかの修正税務申告により、2018年9月30日に終了した3ヶ月間において、1,100万ドルの調整が行われた。

当期純利益から調整後利益への調整¹
 (単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した9ヶ月間:

	<u>2018</u>	<u>2017</u>	<u>増減率</u>
当期純利益	2,395	2,021	18.5%
調整後利益への調整項目:			
資産運用実現損(益)	-25	57	
その他及び非経常的損(益)	73	38	
調整後利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用	-7	-33	
改正税法に関連する調整 ⁴	11	非適用	
調整後利益	2,447	2,083	17.5%
当期における為替変動の影響 ²	-27	非適用	
当期における為替変動の影響を除く調整後利益 ³	2,420	2,083	16.2%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.08	2.52	22.2%
調整後利益への調整項目(単位:ドル):			
資産運用実現損(益)	-0.03	0.07	
その他及び非経常的損(益)	0.09	0.05	
調整後利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用	-0.01	-0.04	
改正税法に関連する調整 ⁴	0.01	非適用	
希薄化後1株当たり調整後利益(単位:ドル)	3.15	2.60	21.2%
当期における為替変動の影響 ² (単位:ドル)	-0.03	非適用	
当期における為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり調整後利益 ³ (単位:ドル)	3.11	2.60	19.6%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²為替変動については、その影響額を当期に限定するため、前期の影響額は「非適用」とした。

³当期における為替変動の影響を除く金額は、比較対象の前年同期における平均円/ドル為替レートをを用いて計算されており、これにより、為替レートの変化のみによってもたらされたドルベースの変動を消去している。

⁴改正税法の影響の評価額は初期的なものであり、場合によっては大幅に調整される可能性があり、その要因には次のものが含まれる。当社の計算についてのさらなる精査、当社が行った解釈と前提の変更、今後発せられる税務ガイダンス及び改正税法の結果として当社がとる行動。当社により提出された申告額と費用計上額の調整及びいくつかの修正税務申告により、2018年9月30日に終了した3ヶ月間において、1,100万ドルの調整が行われた。

米国GAAPに基づく純資産額から調整後純資産額への調整¹

(単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く―無監査)

9月30日現在:

	<u>2018</u>	<u>2017</u>	<u>増減率</u>
米国GAAPに基づく純資産額	23,234	21,977	
減算:			
外貨換算未実現(損)益	-2,113	-1,715	
保有有価証券及びデリバティブに係る未実現(損)益	4,216	5,414	
年金債務当期調整額	-194	-168	
その他の包括(損)益累計額合計(AOCI)	1,909	3,531	
調整後純資産額 ²	21,325	18,446	
加算:			
外貨換算未実現(損)益	-2,113	-1,715	
外貨換算未実現(損)益を含む調整後純資産額 ³	19,212	16,731	
期末発行済株式数(単位:千株)	763,113	787,750	
1株当たりの米国GAAPに基づく純資産額(単位:ドル)	30.45	27.90	9.1%
減算:			
1株当たりの外貨換算未実現(損)益	-2.77	-2.18	
1株当たりの保有有価証券及びデリバティブに係る未実現(損)益	5.52	6.87	
1株当たりの年金債務当期調整額	-0.25	-0.21	
1株当たりのその他の包括(損)益累計額合計(AOCI)	2.50	4.48	
1株当たりの調整後純資産額 ²	27.94	23.42	19.3%
加算:			
1株当たりの外貨換算未実現(損)益	-2.77	-2.18	
1株当たりの外貨換算未実現(損)益を含む調整後純資産額 ³	25.18	21.24	18.5%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²調整後純資産額は、米国GAAPに基づく純資産額から、米国GAAPに基づき貸借対照表に記録されたその他の包括(損)益累計額(AOCI)を除いたものである。

³外貨換算未実現(損)益を含む調整後純資産額は、調整後純資産額に外貨換算未実現(損)益を加算したものである。

米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE)から調整後ROEへの調整¹ (為替変動の影響を除く)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	<u>2018</u>	<u>2017</u>
当期純利益 - 米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE) ²	14.4%	13.2%
外貨換算未実現(損)益を除いた影響	-1.3%	-1.2%
保有有価証券及びデリバティブに係る未実現(損)益を除いたことによる影響	3.0%	3.8%
年金債務当期調整額を除いたことによる影響	-0.1%	-0.1%
その他の包括(損)益累計額(AOCI)を除いたことによる影響	1.6%	2.5%
その他の包括(損)益累計額(AOCI)を除いた米国GAAPに基づくROE	16.0%	15.7%
調整後利益と当期純利益の差異 ³	-1.0%	-0.9%
報告された調整後ROE	15.0%	14.8%
減算: 為替変動の影響 ⁴	0.0%	非適用
為替変動の影響を除く調整後株主資本利益率(ROE)	15.0%	14.8%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²米国GAAPに基づくROEは、(年換算した)当期純利益を平均株主資本で除して計算されている。

³当期純利益から調整後利益への調整については、別表を参照のこと。

⁴為替変動の影響は、損益計算書上のすべての円建ての項目を、比較対象の前年同期における加重平均為替レートで再計算して求めている。この影響は、再計算後の調整後利益の、報告された調整後利益に対する差異である。比較の目的で、前期の加重平均為替レートをを用いて当期の損益のみを再計算し、当期における為替変動の影響を消去している。これにより、この財務指標の公平な比較を行うことができる。

米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE)から調整後ROEへの調整¹
 (為替変動の影響を除く)

9月30日に終了した9ヶ月間:

	<u>2018</u>	<u>2017</u>
当期純利益 - 米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE) ²	13.4%	12.7%
外貨換算未実現(損)益を除いた影響	-1.2%	-1.3%
保有有価証券及びデリバティブに係る未実現(損)益を除いたことによる影響	3.3%	3.6%
年金債務当期調整額を除いたことによる影響	-0.1%	-0.1%
その他の包括(損)益累計額(AOCI)を除いたことによる影響	1.9%	2.2%
その他の包括(損)益累計額(AOCI)を除いた米国GAAPに基づくROE	15.2%	14.8%
調整後利益と当期純利益の差異 ³	0.3%	0.5%
報告された調整後ROE	15.6%	15.3%
減算: 為替変動の影響 ⁴	0.2%	非適用
為替変動の影響を除く調整後株主資本利益率(ROE)	15.4%	15.3%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²米国GAAPに基づくROEは、(年換算した)当期純利益を平均株主資本で除して計算されている。

³当期純利益から調整後利益への調整については、別表を参照のこと。

⁴為替変動の影響は、損益計算書上のすべての円建ての項目を、比較対象の前年同期における加重平均為替レートで再計算して求めている。この影響は、再計算後の調整後利益の、報告された調整後利益に対する差異である。比較の目的で、前期の加重平均為替レートを用いて当期の損益のみを再計算し、当期における為替変動の影響を消去している。これにより、この財務指標の公平な比較を行うことができる。

為替変動の調整後業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2018年9月30日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入(純額) ³	-0.3%	0.0%
投資収益(純額) ⁴	9.2%	9.4%
保険金給付金及び事業費合計	0.2%	0.6%
調整後利益	17.2%	17.3%
希薄化後1株当たり調整後利益	21.2%	21.2%

¹調整後利益及び希薄化後1株当たり調整後利益については、前記の定義を参照のこと。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同一の円/ドル為替レートを用いて算出した。

³出再保険控除後。

⁴外貨建て投資に係るヘッジ費用の償却額を減算。

為替変動の調整後業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2018年9月30日に終了した9ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入(純額) ³	1.0%	-0.5%
投資収益(純額) ⁴	8.0%	7.1%
保険金給付金及び事業費合計	0.9%	-0.5%
調整後利益	17.5%	16.2%
希薄化後1株当たり調整後利益	21.2%	19.6%

¹調整後利益及び希薄化後1株当たり調整後利益については、前記の定義を参照のこと。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同一の円/ドル為替レートを用いて算出した。

³出再保険控除後。

⁴外貨建て投資に係るヘッジ費用の償却額を減算。

2018年1株当たり調整後利益¹予想²

<u>円/ドル加重平均為替レート</u>	<u>希薄化後 1株当たり調整後利益</u>	<u>為替の影響</u>
105	\$4.05 - \$4.21	\$ 0.15
110	\$3.95 - \$4.11	\$ 0.05
112.16 ³	\$3.90 - \$4.06	\$ -
115	\$3.87 - \$4.03	\$ -0.03

¹ 1株当たり(基本あるいは希薄化後)調整後利益は、米国会計基準(GAAP)外の財務指標であり、当該期間の調整後利益を加重平均発行済株式数(基本あるいは希薄化後)で除したものである。SEC Regulation S-KのItem 10(e)(1)(i)(B)に示される「不合理な努力」の例外規定により、この財務指標に関して、最も比較可能なGAAPの指標に対する定量的な調整計算は示されていない。最も比較可能なGAAPの指標、すなわち1株当たり利益に関する予測情報は、不合理な努力なしに得ることはできない。それは、これらの調整項目が予測不能で制御不能な性質を有しており、予測のためには不合理な努力を要求されるからであり、当社は、投資家にとって有意でない幅広い範囲の予測計数に帰結すると確信している。この理由から、当社はこうした情報の予想される重要性は低いものと確信している。

² 上表は、全ての四半期を平均為替レートで再計算している。

³ 実際の2017年の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」「見通し」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が随時言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・ 世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・ 重要な金利リスクに対するエクスポージャー
- ・ 日本に対する事業の集中
- ・ 円/ドル為替レートの変動
- ・ 従来日本の支社の法的な子会社としての運営
- ・ 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性

- ・ 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・ 情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・ 金融市場の安定化を目指す政府の行為
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 保険業界における継続的な変化
- ・ 患者の個人情報及び情報セキュリティに関する規則の遵守の失敗
- ・ 広範囲な規制及び法律又は政府当局による規制の変更
- ・ 当社に適用される税率の変更
- ・ 投資先の債務不履行及び信用格付けの引き下げ
- ・ 優秀な募集人、ブローカー、社員及び販売提携先を引きつけ、維持する能力
- ・ 他の金融機関の信用力の低下
- ・ 子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- ・ 当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・ 当社に固有なリスク管理方針及び手続の限界
- ・ 特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・ 運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、戦争あるいはその他の軍事行動、テロ行為あるいはその他の暴力行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 米国及び(又は)日本の会計基準の変更
- ・ 当社の事業を離れた出来事によってもたらされる消費者からの信頼の喪失
- ・ 年金及びその他退職給付プランに係る前提の変更による費用の増加と収益性の低下
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 内部統制又はコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続の失敗

改正税法の影響の評価額は、GAAP の当期純利益及び株主資本には含まれるが、別表に定義された調整後利益からは除外される。この評価額は予備的なものであり、場合によっては大幅に調整される可能性があり、その要因には次のものが含まれる。当社の計算についてのさらなる精査、当社が行った解釈と前提の変更、今後発せられる税務ガイダンス及び改正税法の結果として当社がとる行動。



News Release

FOR IMMEDIATE RELEASE

Aflac Incorporated Announces Third Quarter Results, Affirms EPS Outlook, Declares Fourth Quarter Cash Dividend

COLUMBUS, Ga. - October 24, 2018 - Aflac Incorporated today reported its third quarter results.

Total revenues were \$5.6 billion during the third quarter of 2018, compared with \$5.5 billion in the third quarter of 2017. Net earnings were \$845 million, or \$1.09 per diluted share, compared with \$716 million, or \$.90 per diluted share a year ago.

Net earnings in the third quarter of 2018 included pretax net realized investment gains of \$88 million, or \$0.11 per diluted share, compared with pretax net gains of \$71 million, or \$0.09 per diluted share a year ago. Included in those net gains were \$5 million of losses related to impairments and loan loss reserve changes. Pretax net realized gains also included \$27 million from changes in the fair value of equity securities. Net earnings also included a pretax charge of \$3 million, primarily reflecting Japan branch conversion costs. The income tax expense on these net earnings adjustments in the quarter was \$21 million.

The average yen/dollar exchange rate in the third quarter of 2018 was 111.48, or 0.4% weaker than the average rate of 111.03 in the third quarter of 2017. For the first nine months, the average exchange rate was 109.54, or 2.1% stronger than the rate of 111.89 a year ago, which increased Aflac Japan's growth rates in dollar terms.

Adjusted earnings* in the third quarter were \$792 million, compared with \$676 million in the third quarter of 2017. Adjusted earnings per diluted share* increased 21.2% to \$1.03 in the quarter, largely reflecting overall favorable pretax margins and a lower effective tax rate as a result of tax reform. Adjusted earnings in the quarter also included a favorable tax item of \$8 million, or \$0.01 per diluted share. The slightly weaker yen/dollar exchange rate did not have an impact on adjusted earnings per diluted share.

For the first nine months of 2018, total revenues were up 2.4% to \$16.6 billion, compared with \$16.2 billion in the first nine months of 2017. Net earnings were \$2.4 billion, or \$3.08 per diluted share, compared with \$2.0 billion, or \$2.52 per diluted share, for the first nine months of 2017. Adjusted earnings for the first nine months of 2018 were \$2.4 billion, or \$3.15 per diluted share, compared with \$2.1 billion, or \$2.60 per diluted share, in 2017. Excluding the positive impact of \$0.03 per share from the stronger yen/dollar exchange rate, adjusted earnings per diluted share increased 19.6% for the first nine months of 2018.

Total investments and cash at the end of September 2018 were \$124.2 billion, compared with \$122.5 billion at September 30, 2017. In the third quarter, Aflac repurchased \$322 million, or 7.0 million of its common shares. At the end of September, the company had 77.6 million remaining shares authorized for repurchase.

Shareholders' equity was \$23.2 billion, or \$30.45 per share, at September 30, 2018, compared with \$22.0 billion, or \$27.90 per share, at September 30, 2017. Shareholders' equity at the end of the third quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$4.2 billion, compared with a net unrealized gain of \$5.4 billion at September 30, 2017. Shareholders' equity at the end of the third quarter also included unrealized foreign currency translation loss of \$2.1 billion, compared with an unrealized foreign currency translation loss of \$1.7 billion at September 30, 2017. The annualized return on average shareholders' equity in the third quarter was 14.4%.

Shareholders' equity excluding AOCI was \$21.3 billion, or \$27.94 per share at September 30, 2018, compared with \$18.4 billion, or \$23.42 per share, at September 30, 2017, primarily driven by the adoption of tax reform and the associated \$1.9 billion reduction of deferred tax liability. The annualized adjusted return on equity excluding foreign currency impact* in the third quarter was 15.0%.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income, net of reinsurance, was ¥352.0 billion for the quarter, or 0.9% lower than a year ago, with growth in third sector premium more than offset by the reduction in first sector premium due to savings products reaching premium paid-up status. Net investment income, net of amortized hedge costs, increased 8.3% to ¥67.7 billion, driven by higher income from dollar-denominated floating rate assets. Total revenues in yen increased 0.4% to ¥420.9 billion. Pretax adjusted earnings in yen for the quarter increased 1.4% on a reported basis and 1.3% on a currency-neutral basis, driven largely by higher-yielding U.S. dollar investments and a favorable third sector benefit ratio. The pretax adjusted profit margin for the Japan segment was 20.1%, compared with 19.9% a year ago.

For the first nine months, premium income in yen was ¥1.1 trillion, or 1.8% lower than a year ago. Net investment income, net of amortized hedge costs, increased 4.9% to ¥197.5 billion. Total revenues in yen were down 0.8% to ¥1.3 trillion. Pretax adjusted earnings were ¥264.1 billion, or 2.0% higher than a year ago.

For the quarter in dollar terms, premium income, net of reinsurance, decreased 1.3% to \$3.2 billion in the third quarter. Net investment income, net of amortized hedge costs, increased 8.0% to \$606 million. Total revenues increased by 0.1% to \$3.8 billion. Pretax adjusted earnings increased 1.1% to \$756 million.

For the first nine months in dollar terms, premium income, net of reinsurance, was \$9.6 billion, or 0.3% higher than a year ago. Net investment income, net of amortized hedge costs, increased 7.5% to \$1.8 billion. Total revenues were up 1.4% to \$11.5 billion. Pretax adjusted earnings were \$2.4 billion, or 4.5% higher than a year ago.

For the quarter, third sector sales, which include cancer, medical and income support products, decreased 2.6% to ¥21.6 billion and total new annualized premium sales decreased 0.7% to ¥23.6 billion, or \$212 million.

For the first nine months, third sector sales increased 1.8% and new annualized premium sales increased 0.7% to ¥71.7 billion, or \$655 million.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income rose 2.4% to \$1.4 billion in the third quarter. Net investment income increased 3.3% to \$187 million, driven by higher income from floating rate assets partially offset from the drawdown of excess capital in the U.S. segment. Total revenues were up 2.6% to \$1.6 billion. Pretax adjusted earnings were \$334 million, 5.7% higher than a year ago, driven by higher net investment income and a favorable benefit ratio in the quarter. The pretax adjusted profit margin for the U.S. segment was 20.7%, compared with 20.1% a year ago.

For the first nine months, premium income rose 2.6% to \$4.3 billion. Net investment income increased 0.9% to \$544 million. Total revenues were up 2.5% to \$4.8 billion and pretax adjusted earnings were \$1.0 billion, 5.8% higher than a year ago.

Aflac U.S. total new annualized premium sales increased 3.3% in the quarter to \$359 million. For the first nine months of the year, total new sales increased 2.6% to \$1.1 billion.

CORPORATE AND OTHER

For the quarter, total revenue increased 18.8% to \$82 million, reflecting net investment income of \$27 million. Net investment income, which increased \$17 million, benefited from a \$9 million pretax contribution from the company's corporate yen hedging program and invested assets transferred as part of the drawdown of excess capital in the U.S. segment beginning in the fourth quarter of 2017.

Pretax adjusted earnings were a loss of \$29 million, compared with a loss of \$50 million a year ago.

For the first nine months of the year, total revenue increased 20.1% to \$245 million, reflecting net investment income of \$74 million. Net investment income, which increased \$50 million, benefited from an \$18 million pretax contribution from the

company's corporate yen hedging program and invested assets transferred as part of the drawdown of excess capital in the U.S. segment beginning in the fourth quarter of 2017. Pretax adjusted earnings were a loss of \$113 million, compared with a loss of \$150 million a year ago.

DIVIDEND

The board of directors declared the fourth quarter dividend of \$0.26 per share, payable on December 3, 2018 to shareholders of record at the close of business on November 21, 2018.

OUTLOOK

Commenting on the company's results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "We are pleased that our third quarter results in both Japan and the United States reflected solid performance overall and advanced our progress toward achieving the company's objectives for 2018.

"Aflac Japan, our largest earnings contributor, generated strong financial results for the quarter and first nine months of the year. In yen terms, results on an adjusted basis were better than expected for the quarter, resulting primarily from strong investment income and benefit ratios. Third sector sales in the quarter performed in line with our expectations, including sales growth in our new cancer insurance offset by a natural decline in medical insurance sales. We anticipate similar results in the fourth quarter, which would result in low-single-digit third sector sales growth for the year. Additionally, we continue to expect that third sector earned premium will maintain steady growth in the 2% to 3% range for the year, reflecting Aflac's stable sales and continued high persistency.

"Turning to our U.S. operations, we are pleased with the financial performance and continued strength in profitability. Our results on an adjusted basis reflect higher investment income and a lower benefit ratio. Consistent with our guidance, we expect expenses to increase in the fourth quarter of the year as we accelerate investment in the platform and follow through on our commitment to reinvest tax savings back into the business. Our third quarter new annualized premium sales results, together with our sales outlook, put us on track to come in toward the lower end of our anticipated 2018 new annualized premium sales growth of 3% to 5%. We believe we have the right strategy in place for continuing to grow our franchise in the U.S. We believe that our investments in distribution and our customer experience objectives will continue to yield sales growth and stable persistency, driving an earned premium growth outlook of 2% to 3% for the year.

"We remain committed to maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders and balancing our financial strength with increasing the dividend, repurchasing shares and reinvesting in our business. We continue to anticipate share repurchase will be in the range of \$1.1 to \$1.4 billion in 2018. At the same time, we recognize that prudent investment in our platform is also critical to our growth strategy as well as driving efficiencies that will impact the bottom line for the long term. It goes without saying that we treasure our record of dividend growth. With this quarter's declaration, 2018 will mark the 36th consecutive year of dividend increases. As we communicated earlier this year, the Board reserves the right to look at the dividend on a quarterly basis, but we have reset our review cycle for the dividend increase to the first quarter.

"Consistent strong performance in the first nine months of the year puts us on track to achieve the high end of our revised 2018 adjusted earnings per diluted share guidance of \$3.90 to \$4.06, assuming the 2017 weighted-average exchange rate of 112.16 yen to the dollar. As always, we are working very hard to achieve our earnings-per-share objective while also ensuring we deliver on our promise to policyholders."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For more than six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the leader in voluntary insurance sales at the worksite. Through its trailblazing One Day PaySM initiative, for eligible claims, Aflac U.S. can process, approve and electronically send funds to claimants for quick access to cash in just one business day. In Japan, Aflac is the leading provider of medical and cancer insurance and insures 1 in 4 households. Aflac insurance products help provide protection to more than 50 million people worldwide. For 12 consecutive years, Aflac has been recognized by Ethisphere as one of the World's Most Ethical Companies. In 2018, Fortune magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work for in America for the 20th consecutive year and included Aflac on its list of World's Most Admired Companies for the 17th time. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac and One Day PaySM, visit aflac.com or aflac.com/espanol.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (ET) on Thursday, October 25, 2018.

*See Non-U.S. GAAP Financial Measures section for an explanation and definitions of the non-U.S. GAAP financial measures used in this earnings release, as well as a reconciliation of such non-U.S. GAAP financial measures to the most comparable U.S. GAAP financial measures.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	2018	2017	% Change
Total revenues	\$ 5,577	\$ 5,506	1.3 %
Benefits and claims, net	3,002	3,083	(2.6)
Total acquisition and operating expenses	1,429	1,348	6.0
Earnings before income taxes	1,146	1,075	6.6
Income taxes	301	359	
Net earnings	\$ 845	\$ 716	18.0 %
Net earnings per share – basic	\$ 1.10	\$ 0.91	20.9 %
Net earnings per share – diluted	1.09	0.90	21.1
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	767,049	788,958	(2.8)%
Diluted	772,070	794,762	(2.9)
Dividends paid per share	\$ 0.26	\$ 0.22	18.2 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
 (UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	2018	2017	% Change
Total revenues	\$ 16,632	\$ 16,243	2.4 %
Benefits and claims, net	9,075	9,174	(1.1)
Total acquisition and operating expenses	4,296	4,050	6.1
Earnings before income taxes	3,261	3,019	8.0
Income taxes	866	998	
Net earnings	\$ 2,395	\$ 2,021	18.5 %
Net earnings per share – basic	\$ 3.10	\$ 2.54	22.0 %
Net earnings per share – diluted	3.08	2.52	22.2
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	772,807	794,645	(2.7)%
Diluted	777,867	800,483	(2.8)
Dividends paid per share	\$ 0.78	\$ 0.65	20.0 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

SEPTEMBER 30,	<u>2018</u>	<u>2017</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$ 124,214	\$ 122,489	1.4 %
Deferred policy acquisition costs	9,622	9,413	2.2
Other assets	4,105	4,181	(1.8)
Total assets	\$ 137,941	\$ 136,083	1.4 %
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 100,584	\$ 98,713	1.9 %
Notes payable	5,279	5,248	0.6
Other liabilities	8,844	10,145	(12.8)
Shareholders' equity	23,234	21,977	5.7
Total liabilities and shareholders' equity	\$ 137,941	\$ 136,083	1.4 %
Shares outstanding at end of period (000)	763,113	787,750	(3.1)%

NON-U.S. GAAP FINANCIAL MEASURES¹

This earnings release includes references to Aflac's non-U.S. GAAP performance measures, adjusted earnings, adjusted earnings per diluted share, adjusted return on equity, amortized hedge costs, and adjusted book value. These measures are not calculated in accordance with U.S. GAAP (GAAP). The measures exclude items that the company believes may obscure the underlying fundamentals and trends in insurance operations because they tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with insurance operations. Management uses adjusted earnings, adjusted earnings per diluted share, and adjusted return on equity to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations on a consolidated basis and believes that a presentation of these measures is vitally important to an understanding of the underlying profitability drivers and trends of Aflac's insurance business. The company believes that amortized hedge costs, which are a component of adjusted earnings, measure the periodic currency risk management costs associated with hedging a portion of Aflac Japan's U.S. dollar-denominated investments and are an important component of net investment income. The company considers adjusted book value important as it excludes accumulated other comprehensive income (AOCI), which fluctuates due to market movements that are outside management's control. Definitions of the company's non-GAAP measures and reconciliations to the most comparable GAAP measures are provided below and in the following schedules.

Due to the size of Aflac Japan, where the functional currency is the Japanese yen, fluctuations in the yen/dollar exchange rate can have a significant effect on reported results. In periods when the yen weakens, translating yen into dollars results in fewer dollars being reported. When the yen strengthens, translating yen into dollars results in more dollars being reported. Consequently, yen weakening has the effect of suppressing current period results in relation to the comparable prior period, while yen strengthening has the effect of magnifying current period results in relation to the comparable prior period. A significant portion of the company's business is conducted in yen and never converted into dollars but translated into dollars for GAAP reporting purposes, which results in foreign currency impact to earnings, cash flows and book value on a GAAP basis. Because foreign exchange rates are outside of management's control, Aflac believes it is important to understand the impact of translating Japanese yen into U.S. dollars. Adjusted earnings, adjusted earnings per diluted share, and adjusted return on equity, all excluding current period foreign currency impact, are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior year period, which eliminates fluctuations driven solely by yen-to-dollar currency rate changes.

Aflac defines the non-GAAP measures included in this earnings release as follows:

- Adjusted earnings are adjusted revenues less benefits and adjusted expenses. The adjustments to both revenues and expenses account for certain items that cannot be predicted or that are outside management's control. Adjusted revenues are GAAP total revenues excluding realized investment gains and losses, except for amortized hedge costs related to foreign currency exposure management strategies and net interest cash flows from derivatives associated with certain investment strategies. Adjusted expenses are GAAP total acquisition and operating expenses including the impact of interest cash flows from derivatives associated with notes payable but excluding any nonrecurring or other items not associated with the normal course of the company's insurance operations and that do not reflect Aflac's underlying business performance. The most comparable GAAP measure is net earnings.
- Adjusted earnings per share (basic or diluted) are the adjusted earnings for the period divided by the weighted average outstanding shares (basic or diluted) for the period presented. The most comparable GAAP measure is net earnings per share.
- Adjusted return on equity excluding foreign currency impact is calculated using adjusted earnings excluding the impact of the yen/dollar exchange rate, as reconciled with total GAAP net earnings, divided by average shareholders' equity, excluding AOCI. The most comparable GAAP measure is return on average equity (ROE) as determined using net earnings and average total shareholders' equity.
- Amortized hedge costs represent costs incurred in using foreign currency forward contracts to hedge the foreign exchange risk of a portion of U.S. dollar-denominated assets in the company's Japan segment investment portfolio. These amortized hedge costs are derived from the difference between the foreign currency spot rate at time of trade inception and the contractual foreign currency forward rate, recognized on a straight line basis over the term of the hedge. There is no comparable GAAP financial measure for amortized hedge costs.
- Adjusted book value is the GAAP book value (representing total shareholders' equity), less AOCI as recorded on the GAAP balance sheet.
- The estimated impact of tax reform, which is included in GAAP net income and equity, but excluded from adjusted earnings as defined, is a preliminary estimate and may be adjusted for the current and future periods, possibly materially, due to, among other things, further refinement of the company's calculations, changes in interpretations and assumptions the company has made, tax guidance that may be issued and actions the company may take as a result of tax reform.

¹ Beginning with the first quarter of 2018, the company began utilizing the term "adjusted earnings" for the measure formerly referred to as "operating earnings," on both a pretax and after-tax basis, as well as an absolute and per-share basis, and the term "adjusted return on equity" for the measure formerly referred to as "operating return on equity." This change only pertained to the label of the measure and did not alter its definition or calculation.

RECONCILIATION OF NET EARNINGS TO ADJUSTED EARNINGS¹
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2018</u>	<u>2017</u>	<u>% Change</u>
Net earnings	\$ 845	\$ 716	18.0%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses	(88)	(71)	
Other and non-recurring (income) loss	3	10	
Income tax (benefit) expense on items excluded from adjusted earnings	21	21	
Tax reform adjustment ⁴	11	N/A	
Adjusted earnings	792	676	17.2%
Current period foreign currency impact ²	1	N/A	
Adjusted earnings excluding current period foreign currency impact ³	\$ 793	\$ 676	17.3%
Net earnings per diluted share	\$ 1.09	\$ 0.90	21.1%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses	(0.11)	(0.09)	
Other and non-recurring (income) loss	—	0.01	
Income tax (benefit) expense on items excluded from adjusted earnings	0.03	0.03	
Tax reform adjustment ⁴	0.01	N/A	
Adjusted earnings per diluted share	1.03	0.85	21.2%
Current period foreign currency impact ²	—	N/A	
Adjusted earnings per diluted share excluding current period foreign currency impact ³	\$ 1.03	\$ 0.85	21.2%

¹ Amounts may not foot due to rounding.

² Prior period foreign currency impact reflected as "N/A" to isolate change for current period only.

³ Amounts excluding current period foreign currency impact are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior-year period, which eliminates dollar-based fluctuations driven solely from currency rate changes.

⁴ This estimated impact of Tax Reform is a preliminary estimate and may be adjusted, possibly materially, due to, among other things, further refinement of the company's calculations, changes in interpretations and assumptions the company has made, tax guidance that may be issued and actions the company may take as a result of Tax Reform. An adjustment of \$11 million was made in the three-month period ended September 30, 2018, as a result of return-to-provision adjustments and various amended returns filed by the company.

RECONCILIATION OF NET EARNINGS TO ADJUSTED EARNINGS¹
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2018</u>	<u>2017</u>	<u>% Change</u>
Net earnings	\$ 2,395	\$ 2,021	18.5%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses	(25)	57	
Other and non-recurring (income) loss	73	38	
Income tax (benefit) expense on items excluded from adjusted earnings	(7)	(33)	
Tax reform adjustment ⁴	11	N/A	
Adjusted earnings	2,447	2,083	17.5%
Current period foreign currency impact ²	(27)	N/A	
Adjusted earnings excluding current period foreign currency impact ³	\$ 2,420	\$ 2,083	16.2%
Net earnings per diluted share	\$ 3.08	\$ 2.52	22.2%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses	(0.03)	0.07	
Other and non-recurring (income) loss	0.09	0.05	
Income tax (benefit) expense on items excluded from adjusted earnings	(0.01)	(0.04)	
Tax reform adjustment ⁴	0.01	N/A	
Adjusted earnings per diluted share	3.15	2.60	21.2%
Current period foreign currency impact ²	(0.03)	N/A	
Adjusted earnings per diluted share excluding current period foreign currency impact ³	\$ 3.11	\$ 2.60	19.6%

¹ Amounts may not foot due to rounding.

² Prior period foreign currency impact reflected as "N/A" to isolate change for current period only.

³ Amounts excluding current period foreign currency impact are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior-year period, which eliminates dollar-based fluctuations driven solely from currency rate changes.

⁴ This estimated impact of Tax Reform is a preliminary estimate and may be adjusted, possibly materially, due to, among other things, further refinement of the company's calculations, changes in interpretations and assumptions the company has made, tax guidance that may be issued and actions the company may take as a result of Tax Reform. An adjustment of \$11 million was made in the three-month period ended September 30, 2018, as a result of return-to-provision adjustments and various amended returns filed by the company.

RECONCILIATION OF U.S. GAAP BOOK VALUE TO ADJUSTED BOOK VALUE ¹
(UNAUDITED - IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

SEPTEMBER 30,	2018	2017	% Change
U.S. GAAP book value	\$ 23,234	\$ 21,977	
Less:			
Unrealized foreign currency translation gains (losses)	(2,113)	(1,715)	
Unrealized gains (losses) on securities and derivatives	4,216	5,414	
Pension liability adjustment	(194)	(168)	
Total AOCI	1,909	3,531	
Adjusted book value ²	\$ 21,325	\$ 18,446	
Add:			
Unrealized foreign currency translation gains (losses)	(2,113)	(1,715)	
Adjusted book value including unrealized foreign currency translation gains (losses) ³	\$ 19,212	\$ 16,731	
Number of outstanding shares at end of period (000)	763,113	787,750	
U.S. GAAP book value per common share	\$ 30.45	\$ 27.90	9.1%
Less:			
Unrealized foreign currency translation gains (losses) per common share	(2.77)	(2.18)	
Unrealized gains (losses) on securities and derivatives per common share	5.52	6.87	
Pension liability adjustment per common share	(0.25)	(0.21)	
Total AOCI per common share	2.50	4.48	
Adjusted book value per common share ²	\$ 27.94	\$ 23.42	19.3%
Add:			
Unrealized foreign currency translation gains (losses) per common share	(2.77)	(2.18)	
Adjusted book value including foreign currency translation gains (losses) per common share ³	\$ 25.18	\$ 21.24	18.5%

¹ Amounts may not foot due to rounding.

² Adjusted book value is the U.S. GAAP book value, excluding AOCI (as recorded on the U.S. GAAP balance sheet).

³ Adjusted book value including unrealized foreign currency translation gains (losses) is adjusted book value plus unrealized foreign currency translation gains (losses).

RECONCILIATION OF U.S. GAAP RETURN ON EQUITY (ROE) TO ADJUSTED ROE¹
(EXCLUDING IMPACT OF FOREIGN CURRENCY)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	2018	2017
Net earnings - U.S. GAAP ROE ²	14.4%	13.2%
Impact of excluding unrealized foreign currency translation gains (losses)	(1.3)	(1.2)
Impact of excluding unrealized gains (losses) on securities and derivatives	3.0	3.8
Impact of excluding pension liability adjustment	(0.1)	(0.1)
Impact of excluding AOCI	1.6	2.5
U.S. GAAP ROE - less AOCI	16.0	15.7
Differences between adjusted earnings and net earnings ³	(1.0)	(0.9)
Adjusted ROE - reported	15.0	14.8
Less: Impact of foreign currency ⁴	—	N/A
Adjusted ROE, excluding impact of foreign currency	15.0	14.8

¹ Amounts presented may not foot due to rounding.

² U.S. GAAP ROE is calculated by dividing net earnings (annualized) by average shareholders' equity.

³ See separate reconciliation of net income to adjusted earnings.

⁴ Impact of foreign currency is calculated by restating all yen components of the income statement to the weighted average yen rate for the comparable prior year period. The impact is the difference of the restated adjusted earnings compared to reported adjusted earnings. For comparative purposes, only current period income is restated using the weighted average prior period exchange rate, which eliminates the foreign currency impact for the current period. This allows for equal comparison of this financial measure.

RECONCILIATION OF U.S. GAAP RETURN ON EQUITY (ROE) TO ADJUSTED ROE¹
(EXCLUDING IMPACT OF FOREIGN CURRENCY)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	2018	2017
Net earnings - U.S. GAAP ROE ²	13.4%	12.7%
Impact of excluding unrealized foreign currency translation gains (losses)	(1.2)	(1.3)
Impact of excluding unrealized gains (losses) on securities and derivatives	3.3	3.6
Impact of excluding pension liability adjustment	(0.1)	(0.1)
Impact of excluding AOCI	1.9	2.2
U.S. GAAP ROE - less AOCI	15.2	14.8
Differences between adjusted earnings and net earnings ³	0.3	0.5
Adjusted ROE - reported	15.6	15.3
Less: Impact of foreign currency ⁴	0.2	N/A
Adjusted ROE, excluding impact of foreign currency	15.4	15.3

¹ Amounts presented may not foot due to rounding.

² U.S. GAAP ROE is calculated by dividing net earnings (annualized) by average shareholders' equity.

³ See separate reconciliation of net income to adjusted earnings.

⁴ Impact of foreign currency is calculated by restating all yen components of the income statement to the weighted average yen rate for the comparable prior year period. The impact is the difference of the restated adjusted earnings compared to reported adjusted earnings. For comparative purposes, only current period income is restated using the weighted average prior period exchange rate, which eliminates the foreign currency impact for the current period. This allows for equal comparison of this financial measure.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON ADJUSTED RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2018	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes²</u>
Net premium income ³	(0.3)%	—%
Net investment income ⁴	9.2	9.4
Total benefits and expenses	0.2	0.6
Adjusted earnings	17.2	17.3
Adjusted earnings per diluted share	21.2	21.2

¹ Refer to previously defined adjusted earnings and adjusted earnings per diluted share.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

³ Net of reinsurance

⁴ Less amortized hedge costs on foreign investments

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON ADJUSTED RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2018	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes²</u>
Net premium income ³	1.0%	(0.5)%
Net investment income ⁴	8.0	7.1
Total benefits and expenses	0.9	(0.5)
Adjusted earnings	17.5	16.2
Adjusted earnings per diluted share	21.2	19.6

¹ Refer to previously defined adjusted earnings and adjusted earnings per diluted share.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

³ Net of reinsurance

⁴ Less amortized hedge costs on foreign investments

2018 ADJUSTED EARNINGS PER SHARE¹ SCENARIOS²

Weighted-Average Yen/Dollar Exchange Rate	Adjusted Earnings Per Diluted Share	Foreign Currency Impact
105	\$ 4.05 - 4.21	\$ 0.15
110	3.95 - 4.11	0.05
112.16 ³	3.90 - 4.06	—
115	3.87 - 4.03	(0.03)

¹ A non-GAAP financial measure, adjusted earnings per share (basic or diluted) are the adjusted earnings for the period divided by the weighted average outstanding shares (basic or diluted) for the period presented. In reliance on the “unreasonable efforts” exception in Item 10(e)(1)(i)(B) of SEC Regulation S-K, a quantitative reconciliation to the most comparable GAAP measure is not provided for this financial measure. Forward-looking information with regard to the most comparable GAAP financial measure, earnings per share, is not available without unreasonable effort. This is due to the unpredictable and uncontrollable nature of these reconciling items, which would require an unreasonable effort to forecast and we believe would result in such a broad range of projected values that would not be meaningful to investors. For this reason, we believe that the probable significance of such information is low.

² Table recasts all quarters to the average exchange rate.

³ Actual 2017 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a “safe harbor” to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. The company desires to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC). Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as “expect,” “anticipate,” “believe,” “goal,” “objective,” “may,” “should,” “estimate,” “intends,” “projects,” “will,” “assumes,” “potential,” “target,” “outlook” or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements.

The company cautions readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; exposure to significant interest rate risk; concentration of business in Japan; foreign currency fluctuations in the yen/dollar exchange rate; operation of the former Japan branch as a legal subsidiary; limited availability of acceptable yen-denominated investments; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; ongoing changes in the Company’s industry; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; extensive regulation and changes in law or regulation by governmental authorities; changes in tax rates applicable to the company; defaults and credit downgrades of investments; ability to attract and retain qualified sales associates, brokers, employees, and distribution partners; decline in creditworthiness of other financial institutions; subsidiaries’ ability to pay dividends to Aflac Incorporated; decreases in the Company’s financial strength or debt ratings; inherent limitations to risk management policies and procedures; concentration of the Company’s investments in any particular single-issuer or sector; differing judgments applied to investment valuations; ability to effectively manage key executive succession; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on the Company’s investments; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, war or other military action, terrorism or other acts of violence, and damage incidental to such events; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; loss of consumer trust resulting from events external to the Company’s operations; increased expenses and reduced profitability resulting from changes in assumptions for pension and other postretirement benefit plans; level and outcome of litigation; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

The estimated impact of tax reform, which is included in GAAP net income and equity, but excluded from adjusted earnings as defined, is a preliminary estimate and may be adjusted, possibly materially, due to, among other things, further refinement of the company’s calculations, changes in interpretations and assumptions the company has made, tax guidance that may be issued and actions the company may take as a result of tax reform.

Analyst and investor contact - David A. Young, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or dyoung@aflac.com

Media contact - Catherine H. Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@aflac.com